

全国 保健師長会 だより

日本公衆衛生看護学会学術集会・全国保健師長会ワークショップ「地域に責任を持つ保健師活動の伝承」管理期の保健師による「みる・つなぐ・うごかす・つたえる」を実践活動から考える」活動報告

令和3年1月9日、コロナ禍で初めてのオンライン・ワークショップ（以下、「WS」という）を新型コロナウイルス感染症の対応や健康支援活動を通して、管理期の役割や課題、後輩育成をテーマに開催し、68名が参加しました。

1 活動報告及び講演
(1)健康危機管理対応における統括保健師の実践活動報告
「新型コロナウイルス感染症への対応」東京都文京区 木内恵美氏

催となりましたが、実践的な取り組みを紹介し、意見交換できる場の一つとして、有効だったといえます。
宮崎先生からは、健康危機感からこそ求められる保健師の専門性と、統括保健師の役割やモチベーション維持へのメッセージをいただき、日々コロナ対応で疲弊している保健師の胸を打ち、明日への活力となりました。

（文責）学会・学術に関する委員会委員長／東京都多摩立川保健所 山科美絵

令和3年度全国保健師長会調査研究事業「新型コロナウイルス感染症に関連して保健所に増員された保健師等の業務についての調査」

新型コロナウイルス感染症は、令和元年12月以降、世界的に猛威を振るい、国内でも今年3月末から第4波、8月から第5波と、ワクチン接種が進んできたとはいえ、未だ収束の見込みは立っていません。
そのような中、保健所の恒常的な人員体制強化のため、国は本年度の地方財政対策で4年度までの2年間で感染症対応業務に従事す

日本公衆衛生看護学会学術集会活動報告 令和3年度全国保健師長会調査研究事業 中間報告

全国保健師長会学会・学術に関する委員会委員長／東京都多摩立川保健所 山科美絵

全国保健師長会常任理事／広島県福山市保健福祉局 來山典子

「災害時の保健活動推進にかか
る現場での取り組み」神奈川県横
浜市 鈴木由里子氏

(2)講演
「統括的立場から健康危機管理
における保健師の役割と、人材育
成体制構築における課題と支援の
ポイント」千葉大学大学院看護学
研究科 宮崎美砂子氏

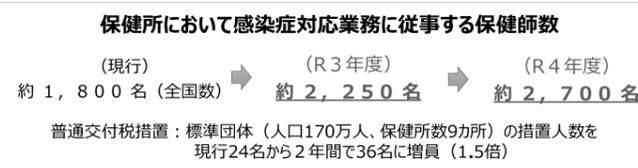
《講演の要旨》危機管理業務は、不
確実な状況と正解がない中で最善
の選択をしていく判断・行動が求
められ、その中で統括保健師の
役割は重要です。統括的業務は特
定の人に固定的に与えるものでは
なく、機能（役割）として組織に根
付かせることが重要で、統括的機
能を発揮するチームでなければな
りません。人材育成では、知識・
スキルだけでなく、感情や組織の
状況を踏まえた自己コントロール
、同業職種へのコミットメント

る保健所の保健師を約900人増
員するよう必要な財政措置を講じ
ています(左図)。増員した保健師
の体制を新型コロナウイルスの感
染が収束した後も維持し、新たな
感染症に備えて保健師に対する研
修や訓練を充実することも求めて
いることから、このたび、全国保
健師長会として表題の調査を実施
することとしました。

どの自治体も短時間の中での応
援体制計画、技術向上のための研

○ 感染症の拡大時に円滑に業務ができるよう、感染症対応業務に従事
する、保健師の恒常的な人員体制を強化（現行の1.5倍に増員）する
ために必要な地方財政措置を講ずる

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、健康危機管理対応力を強化する
ほか、関係機関との連絡調整を充実させるとともに、IHEAT登録者等に対する研
修・訓練等を実施する体制を平時から強化するため、保健所において感染症対応
業務に従事する保健師を2年間で約900名増員（現行の1.5倍に増員）



等、専門性の理解を職場や仲間同
士で伝え合い、共有することが必
要です。その姿を意識して後輩に
見せていくことが特に大切です。

2 オンラインでの意見交換

・保健師の役割、専門性を保健師
の中でも共有すること、後輩育
成では、大変な状況下でも工夫
しながら乗り越えてきているこ
とのフィードバックが必要で
す。

・保健師だけで施策は進まないた
め、保健師という職種や特性を
他職種、事務職にも伝え、理解
を深め、つながりを意識して活
動することが管理期保健師の役
割として重要です。

・コロナ対応が長期化している中
で、専門職としてのモチベー
ションの維持が重要であり、モ
チベーション低下の要因となる
「孤立」を防ぐための、統括保健

修、指揮官やチーム運営及び関係
者と関係構築ができるよう工夫
し、心身の健康管理や今後の体制
強化等に取り組んでいるところで
あり、調査では喫緊の課題である
保健所機能強化の中での保健師業
務に関してお尋ねしています。

第5波対応中での調査依頼だっ
たため、現在、集計中です。なお、
今回は調査の概要をお知らせし、
最終報告は今年度末の予定です。

【目的】

新型コロナウイルス感染症に関
連し自治体における保健師の増員
及び担っている業務等について調
査し、今後の保健師体制の確保や
人材育成に活かすものです。

【調査の概要】

対象は保健所設置自治体の統括
保健師（会員）、期間は令和3年9
月2日（木）～27日（月）、メールに
よるアンケート調査を行いました。

【調査項目】

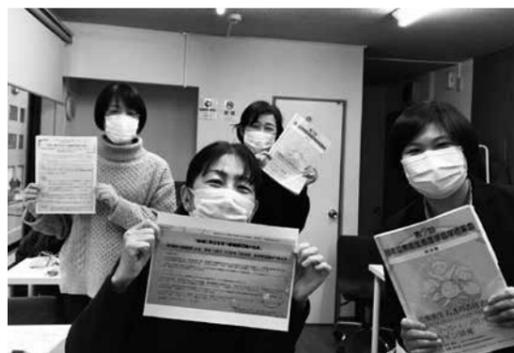
保健師の増員状況、感染症部門
保健師の主たる業務、研修内容や
工夫点を調査しました。

【回答状況】

9月27日現在、153の自治体
に依頼し、集計中です。

【今後のまとめとアンケート】

師の役割が期待されます。
3 まとめ
健康危機管理を切り口に管理期
の保健師の役割や課題、後輩育
成の考えを深め、体制づくり・チ
ームワークの重要性を共通認識す
ることができました。コロナ禍の影
響を受けてオンラインでのWS開



無事に開催を終えてほっとしている
学会・学術に関する委員会の東京都メンバー

感染者の急増という緊急の状況
下では、都道府県、保健所設置市、
特別区の保健所の専門職が不足す
る事態に陥り、全庁的な応援が
あっても相当厳しい状況が続きま
した。刻々と変わる情報に応じ、
他部署からの応援職員に何とか情
報共有を行いながら当日業務をこ
なすのが精いっぱいな状況で、住
民の怒りや不安に直面することも
あり、保健師自身の心身の管理も
必要でした。情報の整理、共有と
その手法の課題のほか、広域の研
修開催の調整、クラスター発生時
に管内市町村へ提供すべき情報の
整理や連携を行う上での課題も上
がりました。また分散配置、業務
分担制により感染症部門の経験者
は保健師全体の握りの人数であ
るため、とりあえずマニュアル対
応で乗り切った、統括保健師によ
る調整がカギとなった、という状
況も聞かれました。

今後「常勤保健師の感染症部門
への増員」「新型コロナウイルス感
染症に関連した、また通常業務の
人材育成」及び「感染拡大下での人
材育成」についてまとめていくこ
ととしています。

（文責）常任理事／広島県福山市保健福祉
局 來山典子